



ファームウェアバージョン:	R3.20beta17r127
ハードウェアバージョン:	B1
発行日:	2019/12/11

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
注意事項：	2
アップグレード手順：	2
Web GUI を使用したアップグレード	2
追加機能：	4
修正した問題点：	4
既知の問題：	4

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R3.20beta17r127	2019/12/11	DAP-2690	B1

注意事項：

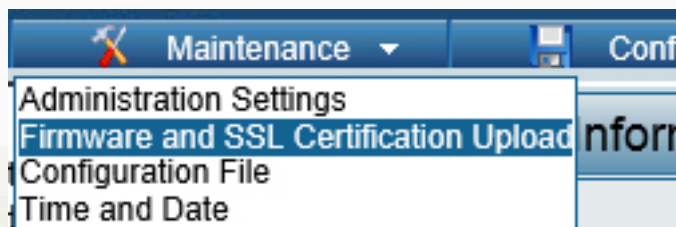
1. 本ファームウェアは、DAP-2690 H/W バージョン B1 用のファームウェアです。必ずご使用の H/W バージョンをご確認の上、ファームアップを行ってください。
2. R3.15beta07rc098 において Captive Portal 機能を追加しており、URL リダイレクト機能は統合を行っているため、URL リダイレクトのコンフィグが引き継がれません。
恐れ入りますが、R3.15beta07rc098 より古いバージョンをご利用で本機能をお使いの場合は、本ファームウェアにファームウェアアップグレード後、再設定を行ってください。

アップグレード手順：

ファームウェアのアップグレードは、Web GUI から行うことができます。アップグレード方法は次の「[WEB GUI を使用したアップグレード](#)」の手順に従い進めてください。

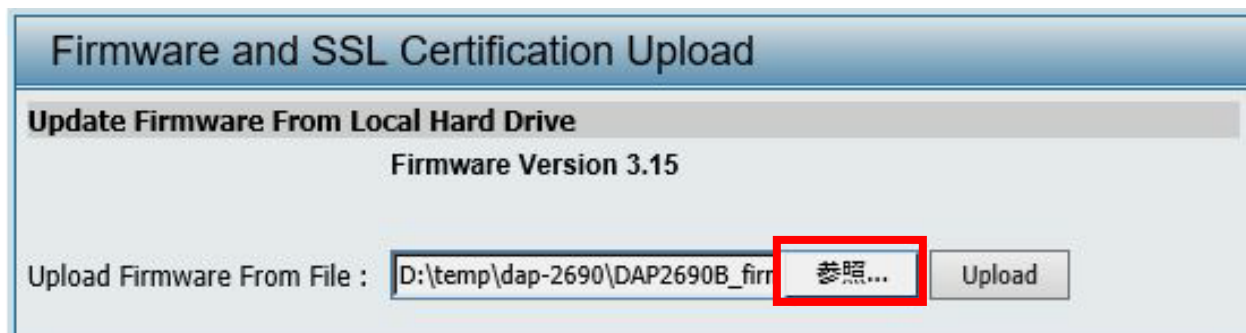
Web GUI を使用したアップグレード

1. 本製品と設定用の PC を接続後、WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに WEB GUI の管理画面を表示します。
※工場出荷時状態の IP アドレスは <http://192.168.0.50> です。
2. WEB GUI のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力し、ログインしてください。
※工場出荷時状態のユーザ名は「admin」、パスワードを「空白」です。
3. ログイン後、上部のメニューから「Maintenance」->「Firmware and SSL Certification Upload」の順でクリックします。



4. ログイン後、上部のメニューから「Maintenance」->「Firmware and SSL Certification Upload」の順でクリックします。

5. 「Firmware and SSL Certification Upload」画面が表示されたら、「Update Firmware From Local Hard Drive」の「参照」ボタンをクリックし、ローカルのハードディスクに保存した本ファームウェアを選択します。




6. ファームウェアを選択した後、「Upload」ボタンをクリックして、ファームウェアをアップデートします。



注意：ファームウェアのアップデート中に、電源を切らないでください。アップデート中に電源を切ると、起動に失敗し、正常に起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

7. ファームウェアのアップデートを開始すると、下記の画面が表示されます。



8. ファームウェアが正常に終了するとログイン画面が表示されます。再度ログインし、System Information 画面で「Firmware Version」が新しくなっていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R3.20beta17r127	<ol style="list-style-type: none"> SSID 毎の Captive Portal 設定において VLAN インタフェースへのマッピングに対応致しました。 Captive Portal で HTTPS URL リダイレクションに対応致しました。 Client Information に OS 情報を追加致しました。 同一 SSID での複数スケジュール設定に対応致しました。 Wireless MAC ACL のエントリ上限数について、SSID ごと 64 個から周波数帯ごとに 512 個に更新致しました。 Language Pack のアップロード/削除機能を追加致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.20beta17r127	<ol style="list-style-type: none"> WPA2 の KRACKs 脆弱性を修正致しました。 クッキー解析時のバッファオーバーフローの問題を修正致しました。 AP アレイ機能使用時に自動チャンネル機能が適切に動作しない場合がある問題を修正致しました。 IPv6 接続の場合、キャプティブポータル認証なしでインターネットに接続してしまう問題を修正致しました。 稀に AP がハングアップし、通信ができなくなる問題を修正致しました。 WPA Personal をご利用の環境において、稀に正常に復号化せずに有線側へ転送する問題を修正致しました。 稀に無線クライアントからの Probe Request、Authentication フレームに応答なくなる問題を修正致しました。 5GHz にて W56 チャンネルをご利用の際、Multi-SSID を有効としていると、Intrusion 及び Channel Analyze が動作しない問題を修正致しました。 OutDoor Mode 使用時に W56 以外の Channel を使用することがある問題を修正致しました。 MSSID を有効にした環境において DFS 検出後、異常な Beacon を送出、または停止する問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R3.20beta17r127	<ol style="list-style-type: none"> Captive Portal は、認証方法(Passcode/Remote Radius 等)を同一に設定した SSID の全てで認証され、SSID の移動後に再認証されません。 WebUI において、IPv6 の HTTPS をサポートしていない問題。 IPv6 と AP Array は併用できません。